



設定前には以下の項目を必ずご確認ください。省略すると後で設定がうまく行かない場合、問題点の判定が難しくなります。

1. お手持ちのすべての機器の初期化を行います。
1-1 携帯端末は初期化が原則（競合する設定を消去します）
iphoneは設定→リセット→iphoneを消去で工場出荷状態に設定します。
（どうしても初期化したくない場合でもネットワーク設定のリセットは必ず行います。）

1-2 利用シムの初期化

シムの設定が狂っているとシムロック解除はできません。以下の手順でシムが稼働することを確認して下さい。※弊社商品利用前に他社商品を利用された場合は特に注意して下さい。
まずAU、SOFTBANK機にシムロック解除基盤を合わせないで直接ドコモシムのみを挿入します。左のように…3Gと表示されればシムは稼働しています。圏外と表示される場合は、1~2回シムを抜き差しして…3Gと表示されるのを待ちます。この方法でシムが稼働状況にならない場合はシムが故障している可能性があります。ドコモの端末を用意していただき、シムが稼働するかどうか確認して下さい。シムがドコモの機械で稼働しない場合シムロック解除はできません。



2. 厚みが厚いシムに当たってしまった場合

シムは大量生産されているので厚みが一定ではありません。運悪く厚みの厚いシムに当たってしまった場合、シム基盤を利用するとトレイに収まりません。紙やすりで文字の部分（文字が消える程度まで削って無理なく差し込める厚みに調整してください。無理やりに押し込みますと取り出せなくなる可能性があります。万が一取り出せなくなった場合はiphone修理業者に依頼してください。

3. シムやシム基盤を触る前に、体の静電気を除去

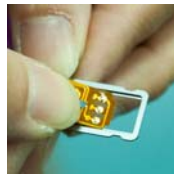
シムやシム基盤はデリケートな電子部品です、体に静電気が帯電している状態で触ると、故障してしまいます。肌の金属部分に触るなどして、静電気を除去してから触るようにしてください。

4. 電波を確認

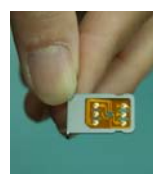
電波の悪いところで作業をしてもそもそも圏外となってしまう、設定が出来ません。特に格安MVNOのドコモシムをシム基盤で利用する場合、純正（docomo）のものに比べて受電能力は低くなります。鉄筋コンクリート内などはおよそ圏外になります。電波が確実に届いているところで解除作業を行ってください

解除作業

1. アクティベーション用のシム（AU/softbank純正シム）を入れた状態で、Wi-Fiを使用可能な状態にしておきます。次に一般→モバイルデータ通信はONその下の「LTEを（4G）」オフにします。



溝にあわせて、スライドさせてペロの部分（文字が消える程度まで削って無理なく差し込める厚みに調整してください。無理やりに押し込みますと取り出せなくなる可能性があります。万が一取り出せなくなった場合はiphone修理業者に依頼してください。）



角が斜めになっている部分（文字が消える程度まで削って無理なく差し込める厚みに調整してください。無理やりに押し込みますと取り出せなくなる可能性があります。万が一取り出せなくなった場合はiphone修理業者に依頼してください。）



裏面から見た状態。ペロの部分は金属トレイの下になっています。

※アクティベーション用の純正シムを持っていない場合はシムロック解除作業をした直後に必ず4GをOFFにしてください。不安定な場合シムがエラーを起こします。（圏外病になります）

2. すぐ下のローミングはONにしておきます。
3. 側面、中央にある穴にシムピンを突きシムトレイを押し出します。
4. シムトレイにVRSIM基盤をのせます。
5. ドコモシムをVRSIM基盤の上に乗せトレイを閉めます。
6. 全自動で、基盤が解除作業を始めますのでそのまましばらく待ちます。
7. しばらく待つと電波のマーク・・・が出てきますので、「アクティベーションが必要です」から了解を押してロック解除します。
（上記でうまくいかない場合は、2分ほど置いておけばDocomoと表示されますので、それからアクティベーション）

1時間ほどして電波が安定したことを確認してから4Gの設定をONにします。

※4Gはiphone6以上で利用可能です。iphone5は3Gにて御利用ください。また4Gの電波が弱いところで4G設定を使用しますと圏外病（圏外のまま自動で復帰できなくなる現象）にかかる可能性があるため電波が不安定な場合はできるだけ3Gにて御利用ください。

7. 圏外病からの回復

何かしらの原因で圏外表示から復帰できない場合はキャリア選択を自動から強制的に切り替え利用する回線を強制的に選択すると、再度稼働し始めます。
この方法により回復しない場合はドコモの端末に入れて同様の方法でシムを復旧して下さい。

